

VOL.03

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 準々決勝

真の大学日本へ



©JUFA

【会場】
 ヤンマースタジアム長居
 ヤンマーフィールド長居
 J-GREEN堺(天竺北フィールド)
 たけびしスタジアム京都(西京極総合運動公園陸上競技場)
 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
 みきぼろパークUょうこ(三本総合防災公園陸上競技場)

9/7(土)

9/5(木)

9/3(火)

9/1(日)

8/28(木)

観戦① 観戦② 観戦③ 観戦④ 観戦⑤ 観戦⑥ 観戦⑦ 観戦⑧ 観戦⑨ 観戦⑩ 観戦⑪ 観戦⑫ 観戦⑬ 観戦⑭ 観戦⑮ 観戦⑯ 観戦⑰ 観戦⑱ 観戦⑲ 観戦⑳ 観戦㉑ 観戦㉒ 観戦㉓ 観戦㉔ 観戦㉕ 観戦㉖ 観戦㉗ 観戦㉘ 観戦㉙ 観戦㉚ 観戦㉛ 観戦㉜ 観戦㉝ 観戦㉞ 観戦㉟ 観戦㊱ 観戦㊲ 観戦㊳ 観戦㊴ 観戦㊵ 観戦㊶ 観戦㊷ 観戦㊸ 観戦㊹ 観戦㊺ 観戦㊻ 観戦㊼ 観戦㊽ 観戦㊾ 観戦㊿

ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！



発行：関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview

試合の見どころ

ヤンマースタジアム長居

15:30 KICKOFF

Reported by 学連幹事

関西大学

VS

福岡大学

関西大学・前田雅文監督は「向こう(拓殖大学)が2戦目、こっちが初戦で難しくなるという所でうまく追加点まで取れたのが安定感に繋がった」と勝利に喜びを見せ、「相手はダイナミックに運ぶサッカーだから戦う準備をしなかったらボコボコにやられる。フルパワーで戦えるようにする」と福岡大学戦を見据える。

「駒澤大学戦用に戦術的な変更を行い、美しさやつなぐサッカーは捨て、勝利だけを目指した」と勝ちへの執念を見せた福岡大学・乾真寛監督。「関西大学は内容が良すぎてびっくりしています。あんなにうまいのか」と苦笑い。「一晩考えて準備します」と勝利を目指す。

ヤンマースタジアム長居

18:00 KICKOFF

Reported by 荒木茂(関西学連)

明治大学

VS

順天堂大学

「初戦はリズムをつかむのが難しい」と仙台大学戦を振り返る明治大学の栗田大輔監督。後半はMF10、小柏剛(3年)らが相手守備陣をかく乱して振り切った。

順天堂大学の堀池巧監督は「中京大学の疲れもあったが、交代選手が役割を果たしてくれた」と初戦を評価。このカード、関東の前期リーグ最終戦で明治大学が2-0の勝利。リベンジをもくろむ順天堂大学に栗田監督は警戒心を強めている。

ヤンマーフィールド長居

15:30 KICKOFF

Reported by 学連幹事

立正大学

VS

大阪体育大学

総理大臣杯初出場の立正大学・杉田守監督は「苦しい展開だったが、最終ラインが踏ん張れたことで1点を取れて勝てた」と振り返り、「大阪体育大学はテクニカルなプレーをする」と分析。「まずはコンディションを回復して、全力で戦える準備をしたい」と意気込む。

筑波大学に勝利した大阪体育大学・松尾元太監督は「勝ててよかった」と安堵の表情。「選手が落ち着いて慌てずにプレーしてくれた」と選手への信頼を見せ、「守備で後半も良くなった部分があった。もっと質をあげてその先に行けるように、どこをやっても勝てるように準備したい」と頂点を目指す。

ヤンマーフィールド長居

18:00 KICKOFF

Reported by 荻谷俊岐(読売新聞社運動部)

法政大学

VS

びわこ成蹊スポーツ大学

2年前の覇者・法政大学は昨年敗れた2回戦を突破。今夏のユニバーシアード大会を制した日本代表のMF8、紺野和也(4年)らを擁し、攻撃陣は強力だ。長山一也監督は「去年のリベンジに燃えている」と語る。

びわこ成蹊スポーツ大学は2回戦で延長戦を戦い無失点だった守備が強み。それだけに、やや決定力を欠いた攻撃陣の奮起が鍵を握る。主将のFW18、井上直輝(4年)は「強豪相手に、波乱を起こしたい」と意気込む。

関西学生サッカー連盟公式SNS

SNSアカウント一覧

- ①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころを紹介！！
- ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿！！
※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿！！

各公式サイトへはQRコードより読み取り、アクセスいただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください！

facebook



Twitter



Match Review Result & Report

Reported by 荒木茂(関西学連)

中京大学	vs	順天堂大学
------	----	-------

2019年9月1日(日) 11:00キックオフ
会場/J-GREEN堺・S2フィールド 天候/曇 入場者数/213人

順天堂大学はエースのFW10、旗手怜央(4年)が負傷で退いたが、交代選手らの活躍で後半に得点を重ね、中京大学を大差で退けた。

序盤は劇的な逆転で勝ち上がった中京大学がCKやDF18、水口豪(4年)のロングスローで攻め込むが、シュートには持ち込めない。17分、その中京大学DF陣が自陣で痛恨のパスミス。ボールを奪った順天堂大学は、旗手からMF15、大谷京平(3年)を経てMF14、鈴木啓太郎(4年)が右足で先制ゴールを挙げた。しかし、中京大学も反撃。19分にMF10、東家聡樹(4年)の右クロスにMF9、西口黎央(4年)が合わせる。28分には水口豪のスローインからDF24、水口湧斗(1年)がこぼれ球をシュート。相手GKがパンチで逃れたが、じりじりとゴールに迫る。そして30分、西口が倒されてPKを獲得。これを西口が自ら決めて追い付いた。

順天堂大学は後半、旗手に代わって後半から出場したFW9、浮田健誠(4年)が61分、ヘディングで勝ち越しゴールを奪い、期待に応えた。さらにFW18、大森真吾(1年)が2得点。その間に途中出場のMF19、鬼島和希(3年)もゴールを奪い、5-1に差を広げて準々決勝にコマを進めた。中京大学にはミスが発端の先制点献上が誤算。後半は順天堂大学の勢いにDF陣が持ちこたえられなかった。

中京大学	1	1-1 0-4	5	順天堂大学
31分 9 西口 黎央				17分 14 鈴木 啓太郎 (15 大谷 京平・10 旗手 怜央)
		得点 (アシスト)		61分 9 浮田 健誠(15 大谷 京平)
				69分 18 大森 真吾 (14 鈴木 啓太郎・9 浮田 健誠)
				76分 19 鬼島 和希(9 浮田 健誠)
				78分 18 大森 真吾(26 寺山 翼)



関西学生サッカーに専用スタジアムを!!

関西学生サッカーの聖地づくりを目標に“未来・夢倶楽部会員”を募集して

います! 終身会費30,000円で、いつでも入会可能!



※未来夢倶楽部は当連盟主催・主管の全ての大会に無料で入場可能です。

関西学生サッカー未来・夢倶楽部
会員募集中!!



夢実現はわたしたちの合言葉



入会案内は入場ゲート受付にご用意しています!

Match Review

Result & Report

Reported by 荒木茂(関西学連)

明治大学

VS

仙台大学

2019年9月1日(日) 13:30キックオフ
会場/J-GREEN堺・S2フィールド 天候/曇 入場者数/198人

関東第1代表でリーグ戦でも首位を走る明治大学が冷や汗をかく試合展開だった。立ち上がり守勢に回った仙台大学が20分前後から攻勢に。左CKの後、明治大学のカウンターを食らうが、逆に奪って、最後はMF10、松尾佑介(4年)が中央をドリブル突破。GKをかわし、ゴール内のDFの位置を確かめて左隅に鮮やかな先制ゴールを決めた。その後は明治大学の攻めが続く。右サイドからMF6、瀬古樹(4年)が切り込み、MF2、中村帆高(4年)がドリブルで突進する。しかし、攻めが単調で相手DFにはね返され、1点ビハインドのまま折り返した。

後半、明治大学はユニバーシアード優勝に貢献したFW10、小柏剛(3年)を投入。待望の同点弾は51分のPK。FW11、佐藤亮(4年)が左足で難なく沈めて追い付いた。さらに66分、MF8、森下龍矢(4年)のシュートがバーを直撃。はね返りを小柏がヘディングシュートし、GKがパンチし逃れたこぼれ球を佐藤亮が豪快な左足ボレー、これが決まって逆転に成功した。

松尾の活躍やDF5、本吉佑多(4年)ら最終ラインの踏ん張りでも善戦した仙台大学。吉田裕幸コーチは「もう少しビルドアップして攻めたかった。後半はDF陣の背後を狙われて……」と悔しさを隠さなかった。

明治大学	2	0-1 2-0	1	仙台大学
51分 11 佐藤亮		得点	23分 10 松尾佑介	
66分 11 佐藤亮		(アシスト)		
(8 森下龍矢・10 小柏剛)				



テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間
読売テレビ	9月8日(日)	25:47~ 関西ローカル
あすリートチャンネル 	9月7日(土)	18:00~ 決勝・LIVE配信
	9月5日(木)	15:30~・18:00~ 準決勝・LIVE配信

※放送時間は変更になる可能性があります。大会プログラムP7にも掲載しています。

ご来場のみみなさまへ

MATCH PREVIEWは、モノクロで配布させていただきます。

ご理解ご了承をお願いいたします。

*カラー版は公式サイトに掲載しております。

Match Review Result & Report

Reported by 苅谷俊岐 (読売新聞社運動部)

法政大学

vs

静岡産業大学

2019年9月1日(日) 11:00キックオフ
会場/J-GREEN堺・SSフィールド 天候/晴 入場者数/276人

2回戦が初戦の法政大学は2年ぶりの優勝を目指し、好スタートを切った。攻撃を組み立てたのは、J1・FC東京への入団が内定しているMF8、紺野和也(4年)。中央に切れ込んで相手DF陣をかき乱したほか、スルーパスで味方を生かす働きを見せた。

21分、オーバーラップしたサイドバックのDF23、関口正大(3年)に紺野から縦パスが通り、関口のクロスにFW20、佐藤大樹(2年)が頭で合わせた。49分には、紺野が右サイドからピンポイントのクロスを送り、またも佐藤が頭で2点目。55分で交代した紺野は「パスミスもあり、プレーの質はまだまだ。その中で結果を出せたことは及第点」と話す。

2点目の佐藤は、法政大学サッカー部を退部しJ1・鹿島アントラーズに入団した上田綺世から動き出しのコツを学んできた。「相手の視界から消える動きを大切にしろ」。その教え通り、2点目のシーンでは、クロスを上げる紺野に相手DFが目に向けた隙に背後に回り込み、マークを外した。佐藤は「頭で合わせるだけのボールだった」と謙遜しながらも、「法政は誰が出ても得点できると示せた。FWで出るからには得点がほしい」と意気込んだ。

長山一也監督は「上田が抜けても、十分なタレントはそろっている。本気で優勝を狙う」と話している。

法政大学	4	1-0 3-1	1	静岡産業大学
------	---	------------	---	--------

21分 20 佐藤 大樹(23 関口 正大)	80分 23 川原 由斗
49分 20 佐藤 大樹(8 紺野 和也)	得点
74分 9 松澤 彰(15 服部 剛大)	(アシスト)
90+1分 13 長谷川 元希	



Reported by 苅谷俊岐 (読売新聞社運動部)

鹿屋体育大学

vs

びわこ成蹊スポーツ大学

2019年9月1日(日) 13:30キックオフ
会場/J-GREEN堺・SSフィールド 天候/晴 入場者数/414人

我慢強く守り、終盤のチャンスをものにしたびわこ成蹊スポーツ大が、接戦を制した。

守備を統率したのはDF3、森昂大(2年)。ボールは終始持たれ続けたものの、相手FW16、根本凌(2年)らを徹底マークし、中央で仕事をさせなかった。「サイドで持たれるのは怖くない。うまく追いやれた」。互いにノーゴールのまま延長に入った。

守備陣の踏ん張りに攻撃陣も奮起。90分でシュート6本を放ちながら無得点だった主将のFW18、井上直輝(4年)は「決めないと守備陣に申し訳ない」と決意を新たにしていた。延長前半終了間際、左サイドの高い位置でボールを奪った井上からのクロスに走り込んだ味方が、Pエリア内で倒されPKを獲得。井上自ら豪快に蹴り込み、雄叫びを上げた。

この1点を守り切ったイレブンに、望月聡監督は「これぞ粘り勝ち。隙を見せず、自分たちの力で流れを引き寄せた」とねぎらった。

一進一退の勝負を演じた鹿屋体育大は後半終了間際、CKから主将のDF5、奥田雄大(4年)がヘディングシュートを放ったが、わずかに枠の外。J2・徳島ヴォルティス入団が内定している奥田は「数少ないチャンスを決めきれなかったのかの差が出た」と悔しがった。

鹿屋体育大学	0	0-0 0-0 0-1 0-0	1	びわこ成蹊スポーツ大学
--------	---	--------------------------	---	-------------

98分 18 井上 直輝	得点
(アシスト)	



Match Review Result & Report

Reported by 学連幹事

関西大学

vs

拓殖大学

2019年9月1日(日) 11:00キックオフ
会場/三木総合防災公園第1球技場 天候/曇 入場者数/347人

関西大学 3 3-0 0 拓殖大学
0-0

17分 33 大久保 優(2 坂口 貴哉)
23分 19 松本 歩夢
29分 9 高橋 晃平(10 牧野 寛太)

得点
(アシスト)

関西第2代表、シード校として2回戦からの出場となった関西大学に対して、1回戦11点の大量得点で勝利を挙げ、勢いに乗る拓殖大学との一戦。前半から大きく動く試合となった。前半17分、右からのクロスにFW33、大久保優(4年)が頭で合わせ先制。続く23分、こぼれ球に左足を振り抜いたMF19、松本歩夢(3年)が追加点。29分にはFW9、高橋晃平(4年)が抜け出し、ゴール。一方の拓殖大学は右サイドの空いたスペースを有効に使い、攻撃を仕掛けるもうまくいかない場面が続く。後半、拓殖大学はギアを挙げ、1回戦ハットトリックを決めたMF7、池田廉(4年)のドリブルを起点に一気に攻めにかけ、ゴールに迫るが決めきれない。関西大学がパスサッカーで終始圧倒した。

次戦は関東第3代表に臆することなく勝利を挙げた福岡大学。関西大学・前田雅文監督は「フルパワーで戦う準備をしたい」と一言。日本一に向けた一歩を踏み出した。



Reported by 学連幹事

福岡大学

vs

駒澤大学

2019年9月1日(日) 13:30キックオフ
会場/三木総合防災公園第1球技場 天候/曇 入場者数/280人

福岡大学 1 1-0 0 駒澤大学
0-0

14分 30 大崎 舜
(24 大川 智己・8 大熊 健太)

得点
(アシスト)

初戦でPK勝ちした福岡大学と関東第3代表の駒澤大学の一戦は、全国大会デビューのFW30、大崎舜(1年)が1点をとり福岡大学が勝利を飾った。「今日は勝つためのフォーメーション」と福岡大学・乾真寛監督は、いつもの4-4-2から5-4-1へと変え、CBにはヘディングに強さがあるDF24、大川智己(1年)を抜擢。駒澤大学・FW11、森本ヒマン、FW9、高橋潤哉の空中戦対策を講じた作戦勝ちとなった。

前半から両チームロングボールを蹴り前へ前へと進めるが、14分、CKから大崎が押し込み先制。その後は福岡大学がMF7、井上健太(3年)とMF8、大熊健太(4年)の縦突破を武器に、ゴールに迫る。「ゴールはおつりだった」と語る乾監督は大崎を「予定通りの30分」で代え、エースFW9、梅木翼(3年)を投入。駒澤大学はHTにベンチに檄が飛び、自分たちのサッカーをやろうと意思統一。後半は駒澤大学が主導権を握り攻勢をかけ続ける。ロングスロー、CK、ロングボールでゴール前に放り込み、空中戦でゴールに向かうもネットは揺れず、1-0のまま試合終了。九州王者がベスト4進出に挑戦することになった。



Match Review Result & Report

Reported by 学連幹事

大阪体育大学

vs

筑波大学

2019年9月1日(日) 11:00キックオフ
会場/三木総合防災公園第2球技場 天候/曇 入場者数/328人

大阪体育大学	3	0-1 3-0	1	筑波大学
--------	---	------------	---	------

66分 10 林 大地 (20 岩切 幸心・9 アフラギマハディ)	20分 10 高嶺 朋樹
71分 9 アフラギマハディ	得点 (アシスト)
83分 14 永吉 広大 (9 アフラギマハディ)	

2017年の総理大臣杯準々決勝でも対戦したこのカード。2年前は筑波大学が3-2で勝利、どちらにとっても負けられない一戦。立ち上がりは大阪体育大学が鋭いプレス、球際の強さでペースを握る。対する筑波大学は前線へボールを回し、サイドからの突破、クロスで大阪体育大学ゴールに幾度となく迫る。一進一退の攻撃が続くなか試合が動いたのは20分。筑波大学・MF10、高嶺朋樹(4年)のダイレクトで合わせたボールが相手DFにあたって先制点となる。その後も追加点を狙いトウロン国際大会にも出場したMF7、三笥薫(4年)がドリブル突破を試みる。前半のうちに追いつきたい大阪体育大学はロングスロー、CKといったセットプレーからチャンスを作るも得点には結びつかずに前半終了。後半も果敢に筑波大学ゴールへ迫り、むかえた66分にFW10、林大地(4年)の同点ゴールが決まる。そこから一気に大阪体育大学ペースに。71分にはこぼれ球に反応したFW9、アフラギマハディがゴールネットを揺らし追加点。83分にはアフラギマハディのラストパスを受けたMF14、永吉広大(3年)のゴールが筑波大学を突き放す3点目となり、大阪体育大学が2年前のリベンジを果たした。



Reported by 学連幹事

立正大学

vs

東海学園大学

2019年9月1日(日) 13:30キックオフ
会場/三木総合防災公園第2球技場 天候/曇 入場者数/364人

立正大学	1	1-0 0-0	0	東海学園大学
------	---	------------	---	--------

5分 11 見原 慧(12 渡辺聖也)	得点 (アシスト)
---------------------	--------------

今大会初出場の立正大学と1回戦を3-0と勝利し2回戦に進出した東海学園大学との一戦。両チームとも相手の様子を伺うような静かな立ち上がりだったが、5分に東海学園大学DF陣の前にこぼれた浮き球に素早く反応した立正大学FW11、見原慧(4年)が振り向きざまに相手のタイミングを外したループシュート。これがゴールに吸い込まれ先制点。その後立正大学が長短織り交ぜた巧みなパス交換からサイドを崩し追加点を狙う。対する東海学園大学は、細かなパス交換とドリブルを混ぜながらの攻撃を仕掛ける。立ち上がりの1点以降、互角の戦いを展開し前半終了。互いにシステム、メンバーの変更なく試合は勝負の後半へ。東海学園大学は左サイドからの素早い連携から途中交代で入ったMF18、小原基樹(2年)が抜け出し決定機を作るも、相手DF陣の懸命なカバーに阻まれる。立正大学はカウンターからの攻撃を試みるが、相手の速い切り替えの前にさらに押し込まれる。試合はそのまま立正大学が1点を守り抜き、今大会初勝利となった。



Official Goods

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

●ユニフォーム型ストラップ

販売価格 500円



全24チーム分販売！
売り切れ御免！

●記念タオル

販売価格 700円



トートバッグや
シューズケースも
販売中！

●公式プログラム

販売価格 1000円



販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

チームメイト・両親・恩師などスタンドで
共に戦い、応援をくれる人へ選手やチーム
スタッフがメッセージを送っています！
Googleフォトより閲覧できるので是非ご覧ください！



ゲート板に各チームの
QRコードが貼ってあります。
是非ご覧ください！！

第43回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！
・勝敗予想企画でマダム商品が当たる！



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して
景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を
勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ
(Pコード 675-826)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力お願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エステートビル601
関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

